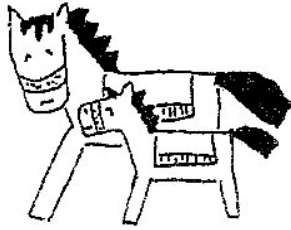


お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポックリ、ポックリと



令和3年 8月 No. 321

〒760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松第二保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857  
<https://oumanooyako.com>

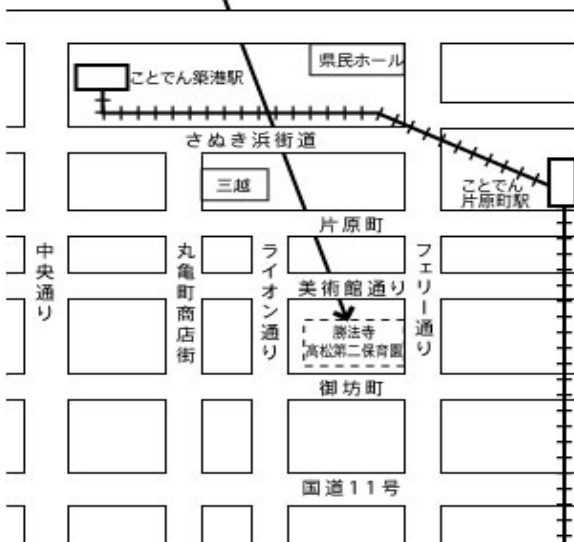


(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		8月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
8月 9日	月	香川みすゞさんの会 13:30～16:30	「幸せな自己成長と子育て支援講演会」の 「何のために生まれてくるの？」に参加。 (高松和貴こども園ホールにて)
8月 6日 20日	金	うたうたい「カラヴィンカ」 19:00～20:30	「美女と野獣」の曲を英語で練習中です。
8月 14日 21日	土	体験保育 10:00～12:00	少人数で室内での運動あそびなど 体験はいかがですか。
8月 14日	土	おとなアート 14:00～16:00	夏草の生命力と自然の美しさを青ずみの濃淡で屏風に 表現します。(材料の準備の為、8/7までに申込要)
8月 19日	木	こうさぎおはなし会 15:30～16:30	低年齢児でも楽しめるよう手遊び、絵本、ペーパーサート などで、おどろいて、笑って、うたってすごしましょう。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して いますので、親子でご来園下さい。 (但し、月・日曜・祭日は休み)	育児相談(月～土)9:00～18:00 しつけや子育てについての悩み、保育園生活 入園・見学についての相談もどうぞ。
--	--

香川県高松市御坊町2-2  
地域子育て支援センター



水と影

お空のかげは  
水のなかには  
お空のふちに  
木立もうつる、  
野茨(のばら)も  
水はすなお、  
なんの影も映す。

水のかげは、  
木立のしげみに  
ちらちら。

明るい影よ、  
ゆすぶる影よ、  
木はつつましい、  
自分の影は小さい。

金子みすゞ手のひら詩集  
「ふうせん」より



☆今月の内容 — 高松市医師会看護専門学校の実習記録より

ことしも高松市医師会看護専門学校の学生さん36名（うち男性12名）が6月24日～7月16日まで2日間ずつの実習に来ました。その実習記録の中から、学生さんが感じたことや学んだことなどを一部ご紹介します。

### ことり（0歳児）

**昼食** 昼ごはんの前は食事への感謝のうたをうたい「いただきます」をする。保育者のまねをして手を合わせる子もいる。手づかみ食べをしたり、自分でスプーンを持ちくわえたり、食器を叩いたりしながら、援助により食事ができている。歌をうたったり声をかけたりして楽しいものであると認識することができる。

発達段階により現在は手づかみ食べをしているが手の微細運動が発達することでスプーンなどを使って食事することができるようになる。

### つくし（1歳児）

**制作** 花火の制作を少人数で行うため他児はシールはりのあそびを別場所で行う。

保育者が手をそえ花火のスタンプが押せるよう援助している。またシールはりのあそびも指先の発達から子が夢中になり、つまんではがし、シール部分を下にして紙に貼りつける動作を行えている。

なかなかできない子に対しては保育者が見本をみせたり、きっかけをつくることで段々と上手にできるようになっていた。ひとり一人をみながら、その子にあわせた援助であそびを確立させていると考える。

**食事について** 先生の声かけで子どもたちは手洗い場で手を洗っていた。手指消毒して、イスできちんと座って配膳を待つことができた。スプーンの使用はうまくできず、手で米飯やおかずをつまんで食べることが多い。床や机にこぼしていた。食べることに興味があり、自分でやりたい気持ちがある。「お口アーンして」と声かけすると口をあけている。きれいな野菜には「イヤイヤ」と拒否していた。1歳児の食事では食器や衣類など身の回りのものは子どもが扱いやすいものを用意し、自分でやりたいという気持ちを認め、食べる意欲の向上を援助する必要がある。



## はと（1歳児）

**保育と教育あそびについて** 足を使った段差を歩いていく階段練習やとび箱とマットを使った上り下りの練習、マットとボールを使ったバランスの練習、バーを使ったジャンプの練習など障害物運動の中に今後の生活にいかされる種目があり、子どもたちはあそびながら楽しく運動能力を身につけていける。多少の能力差があるがゆっくり見守っているとやりとげることができるため、焦らず見守ることが大事である。

子どもの背は低く保育者とは見えている世界が全然違うと気づいた。熱い汁物やおとなの持つカバンがこどもの背の高さになる事もあり、ヤケドやケガに注意が必要だと学んだ。

## つぼみ赤（2歳児）

**あそび** ごっこあそび、積木、車のおもちゃを使用し遊ぶ子が多い。一人あそびを行っている子には積木を手に届くところに置き、一人の時間のじゃましないように援助を行う。数名であそんでいる子どもたちは、おもちゃの取り合いでケンカをすることがあるため、適宜子どもの理解できる言葉でケンカをしないように声かけを行う必要がある。あそびに夢中になり、足元の積木やおもちゃに気づいていない事が多いため、足元の片付けを行うことで転倒防止を行う必要がある。



## つぼみ青（2歳児）

**食事について** 2～3歳児ではスプーンや食器を上手に使用し食事を行う。スプーンの持ち方では、初めは上からにぎる→下持ちに変える→はしに変えられるよう段階をふみ援助をする。食事中もマナーを守れるよう、ダメなことはダメ、良いことはほめるなどメリハリをしっかりとつける事、又楽しく食事することを心がけ食事摂取量の少ない児には元から量を減らしておくなどとし、自分で全て食べられたというよろこびを感じてもらえるようにしている。

## さくら（3歳児）

**身体測定** 月に一度行い、体重、身長を手帳に書きこむ。廊下に並んで座

り、名前を呼ばれるまで静かに待つことができていた。身長は90～100 cm、体重は約13～15 kgであった。ほとんどの子が前月より増えていた。

**しゃぼん玉あそび** しゃぼん玉遊びを行う際は、先生からストローをくわえたまま走らない事や友達の方にしゃぼん玉を吹きかけない事、しゃぼん玉の液をジュースみたいに飲まない事など留意点を説明し、しゃぼん玉遊びを実施した。実施中も先生から言われた事を守り、安全に遊ぶ事ができていた。また、熱中症予防のため、日かげに入りしゃぼん玉遊びをする。本日はこども園敷地内は工事中であった為、常に先生の目が届く所で園児が遊ぶ。

### ほし（4歳児）

**七夕飾り作り** ほし組の子ども達が、一つずつ作ってきた飾りにこよりののりづけする作業があった。こよりは、各園児の両親に頼んで作成しているものを利用していた。こよりのつける位置が分からなかったり、のりをつけすぎてこよりがちぎれたりする子ども達もいたが、少し助言し援助するだけで、子ども達は自分で上手にこよりを飾りに接着することができていた。手先の器用さも発達してくる時期である為、手先を使う工作などは幼児のあそびの発達に影響しているといえる。家に持ちかえり親子で飾りつけをすることで、子と親の会話も自然と増え、スキンシップを行う回数もあがることから、親と子の関係性をより良く促していける要素も込められているのではないかと考える。

### すみれ（5歳児）

**遊びについて** 外遊びの時に、一人が周りの子どもに声かけて鬼ごっこをするという共通の目標に向けて集団を形成し、リーダーとなり、役割の分担がされており、社会性の発達による協同遊びが行われていると考える。しかし、中にはひとり遊びを行っている子どももいたが、これを社会性がないと考えるのではなく、子どもにとっての遊びは、なにかの目的のもとに行うものだけでなく、自由で自発的な活動であり、どのような遊びであっても健全な心とからだの成熟をとげ社会性の獲得につながるため、遊びは成長に対し重要である。

